平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月11日

上場会社名　株式会社 インターアクション　　上場取引所　東
コード番号　7725　URL　http://www.inter-action.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 木地　英雄
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 中瀧　明男　TEL 045-788-8373

四半期報告書提出予定日　平成25年1月15日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第2四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	453	△5.2	10	△84.5	16	△75.3	87	29.9
24年5月期第2四半期	477	79.9	67	―	68	―	67	―

(注)包括利益　25年5月期第2四半期　88百万円　(32.3%)　24年5月期第2四半期　66百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第2四半期	1,094.62	1,090.48
24年5月期第2四半期	921.14	900.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第2四半期	1,924	1,215	62.9	15,007.07
24年5月期	1,756	1,056	60.0	13,733.91

(参考) 自己資本　25年5月期第2四半期　1,211百万円　24年5月期　1,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	―	0.00	―	500.00	500.00
25年5月期	―	0.00			
25年5月期(予想)			―	500.00	500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 5月期の連結業績予想(平成24年 6月 1日～平成25年 5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,666	13.2	340	△14.4	353	△13.2	348	△13.3	4,312.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年5月期2Q	80,721 株	24年5月期	76,761 株
② 期末自己株式数	25年5月期2Q	16 株	24年5月期	16 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年5月期2Q	79,530 株	24年5月期2Q	72,745 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において予想できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】3ページ「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、世界経済の景気減速に加え、円高の影響もあり非常に厳しい状況が続いております。当社グループの主要取引先である半導体メーカーにおいても、一部の顧客でスマートフォンやタブレット端末向け製品の設備投資の動きが見られるものの、中長期的な投資戦略にはやや慎重な姿勢が見られました。このような状況の中、当社グループは、最小限の組織体制とコスト構造を維持しつつ、設備投資需要の取り込みを図る活動を継続いたしました。

当社グループの主力製品であるＣＣＤ及びＣ－ＭＯＳイメージャ向け検査用光源装置の実績につきましては、計画通りに推移いたしました。一方、太陽光発電関連製品につきましては、平成24年７月１日から実施された「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」による太陽光発電システムの需要を見込み、遊休地等の活用のため商品化した「ＯＨＩＳＡＭＡ　ＳＹＳＴＥＭ」の拡販に注力し、好調に推移いたしました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は453百万円（前年同四半期の売上高477百万円に比し、5.2％の減少）、売上総利益は259百万円（前年同四半期の売上総利益265百万円に比し、2.5％の減少）、営業利益は10百万円（前年同四半期の営業利益67百万円に対し、57百万円の利益減少）、貸与資産賃貸料及び支払利息等を加減した経常利益は16百万円（前年同四半期の経常利益68百万円に対し、51百万円の利益減少）、繰延税金資産の増加による法人税等調整額等を加減した四半期純利益は87百万円（前年同四半期の四半期純利益67百万円に対し、20百万円の利益増加）となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

（光源装置）

当社グループの主力製品であるＣＣＤ及びＣ－ＭＯＳイメージャ向け検査用光源装置につきましては、生産設備の増強を伴う光源装置本体への受注及び半導体メーカーの稼働率改善を受けたメンテナンスサービスが共に計画通りで推移いたしました。

当第２四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は304百万円（前年同四半期の売上高454百万円に比し、33.0％の減少）、営業利益は134百万円（前年同四半期の営業利益244百万円に対し、110百万円の利益減少）となりました。

（太陽光発電関連製品）

太陽光発電関連製品につきましては、主として連結子会社である株式会社ＢＩＪにおいて「ＯＨＩＳＡＭＡ　ＳＹＳＴＥＭ」の出荷が堅調に推移したことから、営業黒字化いたしました。連結子会社であるおひさま農場株式会社に関しましては、余剰電力買取制度に基づく売電収入は小額に留まりました。また、大洋州諸島地域でのクリーンエネルギー事業に関しましては、当社は、「ソロモン諸島向けソーラーホームシステムによる過疎地域の電力化」プロジェクトを開始し、ソロモン諸島の電力網の届かない過疎地域へソーラーホームシステム 2,000台を設置する準備を進めておりますが、このプロジェクトによる売上は第３四半期連結会計期間以降を予定しております。

当第２四半期連結累計期間における当セグメントの外部顧客に対する売上高は137百万円（前年同四半期の売上高９百万円に対し、127百万円の増加）、営業利益は26百万円（前年同四半期の営業損失23百万円に対し、49百万円の利益増加）となりました。

（その他）

当第２四半期連結累計期間における画像検査装置の外部顧客に対する売上高は10百万円（前年同四半期の売上高13百万円）、営業利益は５百万円（前年同四半期の営業利益４百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ168百万円増加し、1,924百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ129百万円増加し、1,369百万円となりました。これは、現金及び預金が148百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が51百万円、仕掛品が92百万円、繰延税金資産（その他流動資産）が69百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ38百万円増加し、555百万円となりました。

当第２四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ９百万円増加し、709百万円となりました。これは、社債及び借入金が９百万円、役員賞与引当金が19百万円それぞれ減少したものの、買掛金が33百万円増加したこと等によるものであります。

当第２四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ159百万円増加し、1,215百万円となりました。これは、新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加107百万円があったこと並びに四半期純利益

87百万円の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ148百万円減少し、757百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは169百万円の支出（前年同四半期は85百万円の支出）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益16百万円の計上及び仕入債務の増加33百万円があったものの、売上債権の増加51百万円及びたな卸資産の増加111百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは40百万円の支出（前年同四半期は89百万円の収入）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出37百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは62百万円の収入（前年同四半期は98百万円の支出）となりました。これは、配当金の支払額36百万円があったものの、新株予約権の行使による株式の発行による収入106百万円があったこと等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の連結業績につきまして、当社グループの主力製品であるＣＣＤ及びＣ－ＭＯＳイメージャ向け検査用光源装置につきましては、計画通りで推移しております。一方、太陽光発電関連製品につきましては、国内において遊休地等の活用のため商品化した「ＯＨＩＳＡＭＡ　ＳＹＳＴＥＭ」の販売は好調に推移しているものの、「ソロモン諸島向けソーラーホームシステムによる過疎地域の電力化」プロジェクトについて、プロジェクトは開始したものの、ソーラーホームシステム2,000台の設置において、現地政府との協議により当初計画にない地域（島）への設置範囲の拡大等の計画変更があり、設置計画に遅延が生じたため、当初計画通りの設置完了には至りませんでした。

以上の結果として、売上高は453百万円（当初予想の売上高562百万円に比べ19.4％の減少）となりました。主として売上高の未達及び新規光源装置の研究開発費が当初予想より増加したため、営業利益10百万円（当初予想の営業利益36百万円に比べ25百万円の利益減少）、経常利益16百万円（当初予想の経常利益41百万円に比べ24百万円の利益減少）となりました。

一方、繰延税金資産の増加による法人税等調整額71百万円が利益増加要因となったため、四半期純利益は87百万円（当初予想の四半期純利益39百万円に比べ48百万円の利益増加）となりました。

このことから、売上高、営業利益、経常利益は当初予想を下回る見込みとなりました。一方、四半期純利益は、当初予想を上回る見込みとなりました。

通期の連結業績予想につきまして、光源装置につきましては、概ね計画通り推移しております。

太陽光発電関連製品につきましては、「ＯＨＩＳＡＭＡ　ＳＹＳＴＥＭ」の販売は好調に推移しております。また、「ソロモン諸島向けソーラーホームシステムによる過疎地域の電力化」プロジェクトについても、当第２四半期連結累計期間において設置計画の変更による遅延は生じたものの、既に変更された設置計画は承認され、承認に基く契約金260百万円も平成24年12月に入金済みであり、第３四半期連結会計期間以降において遅延による影響は解消される見込みであります。

以上の理由から、通期の連結業績予想については、修正はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年６月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年５月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年11月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	905,194	757,050
受取手形及び売掛金	95,524	146,651
商品及び製品	18,577	13,876
仕掛品	99,075	191,373
原材料及び貯蔵品	69,556	90,703
その他	52,805	170,329
貸倒引当金	△1,273	△965
流動資産合計	1,239,460	1,369,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	239,327	237,878
土地	140,108	140,108
その他（純額）	44,197	80,259
有形固定資産合計	423,633	458,247
無形固定資産		
その他	4,421	3,676
無形固定資産合計	4,421	3,676
投資その他の資産		
投資有価証券	212,256	213,338
その他	152,730	156,486
貸倒引当金	△276,163	△276,163
投資その他の資産合計	88,822	93,662
固定資産合計	516,878	555,586
資産合計	1,756,338	1,924,604
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,260	45,102
短期借入金	108,000	24,000
1年内償還予定の社債	10,000	－
1年内返済予定の長期借入金	218,391	153,856
未払法人税等	7,292	3,022
役員賞与引当金	19,400	－
製品保証引当金	6,061	4,245
その他	112,169	115,712
流動負債合計	492,574	345,938
固定負債		
長期借入金	177,476	326,086
退職給付引当金	7,058	7,647
その他	22,903	29,545
固定負債合計	207,437	363,278
負債合計	700,012	709,216

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年５月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,983	309,636
資本剰余金	1,476,927	1,492,208
利益剰余金	△672,284	△585,228
自己株式	△1,911	△1,911
株主資本合計	1,058,715	1,214,705
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,706	△3,559
その他の包括利益累計額合計	△4,706	△3,559
新株予約権	2,317	4,242
純資産合計	1,056,325	1,215,388
負債純資産合計	1,756,338	1,924,604

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成23年11月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年６月１日 至　平成24年11月30日）
売上高	477,973	453,182
売上原価	212,158	193,941
売上総利益	265,814	259,240
販売費及び一般管理費	198,127	248,770
営業利益	67,687	10,470
営業外収益		
受取利息	1,087	767
受取配当金	1	1
貸与資産賃貸料	20,920	20,079
その他	3,926	2,371
営業外収益合計	25,935	23,219
営業外費用		
支払利息	6,621	4,554
為替差損	750	1,055
貸与資産諸費用	7,373	5,626
新株予約権発行諸費用	6,001	4,035
その他	4,730	1,608
営業外費用合計	25,477	16,879
経常利益	68,145	16,809
税金等調整前四半期純利益	68,145	16,809
法人税、住民税及び事業税	1,137	1,143
法人税等調整額	－	△71,388
法人税等合計	1,137	△70,245
少数株主損益調整前四半期純利益	67,008	87,055
四半期純利益	67,008	87,055

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成23年６月１日 至　平成23年11月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成24年６月１日 至　平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	67,008	87,055
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△355	1,147
その他の包括利益合計	△355	1,147
四半期包括利益	66,652	88,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,652	88,202
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年６月１日 至　平成23年11月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年６月１日 至　平成24年11月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	68,145	16,809
減価償却費	9,475	13,416
貸倒引当金の増減額（△は減少）	3,064	△307
製品保証引当金の増減額（△は減少）	2,856	△1,816
退職給付引当金の増減額（△は減少）	525	589
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	－	△19,400
受取利息及び受取配当金	△1,088	△768
支払利息及び保証料	7,325	5,230
為替差損益（△は益）	825	1,350
たな卸資産評価損	14,839	2,290
売上債権の増減額（△は増加）	△157,256	△51,127
たな卸資産の増減額（△は増加）	△69,834	△111,033
仕入債務の増減額（△は減少）	52,072	33,841
その他	△7,629	△51,975
小計	△76,678	△162,899
利息及び配当金の受取額	50	55
利息及び保証料の支払額	△7,045	△4,717
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△2,217	△2,281
営業活動によるキャッシュ・フロー	△85,890	△169,842
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	110,108	－
有形固定資産の取得による支出	△18,898	△37,633
無形固定資産の取得による支出	△188	－
投資有価証券の取得による支出	－	△1,082
敷金の差入による支出	△2,530	△2,225
敷金の回収による収入	510	243
投資活動によるキャッシュ・フロー	89,002	△40,698
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	40,000	△84,000
長期借入れによる収入	－	220,000
長期借入金の返済による支出	△110,108	△135,925
社債の償還による支出	△40,000	△10,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	－	△22
新株予約権の発行による収入	－	2,780
新株予約権の行使による株式の発行による収入	9,612	106,452
自己新株予約権の処分による収入	1,600	－
配当金の支払額	－	△36,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98,896	62,867
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,173	△470
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△96,958	△148,143
現金及び現金同等物の期首残高	505,094	905,194
現金及び現金同等物の四半期末残高	408,135	757,050

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第２四半期連結累計期間における第６回新株予約権の行使（188個）及び第８回新株予約権の一部行使（200個）により、資本金が53,653千円、資本準備金が53,653千円増加し、当第２四半期連結会計期間末において資本金が309,636千円、資本剰余金が1,492,208千円となっております。

（６）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成23年６月１日　至　平成23年11月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	光源装置	太陽光発電関連製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	454,724	9,950	464,674	13,298	477,973
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	454,724	9,950	464,674	13,298	477,973
セグメント利益又は損失（△）	244,991	△23,182	221,808	4,100	225,909

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「画像検査装置」であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	221,808
「その他」の区分の利益	4,100
全社費用（注）	△143,382
たな卸資産の調整額	△14,839
四半期連結損益計算書の営業利益	67,687

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成24年６月１日　至　平成24年11月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	光源装置	太陽光発電関連製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	304,851	137,469	442,321	10,860	453,182
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	304,851	137,469	442,321	10,860	453,182
セグメント利益	134,611	26,177	160,788	5,574	166,363

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「画像検査装置」であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	160,788
「その他」の区分の利益	5,574
全社費用（注）	△153,602
たな卸資産の調整額	△2,290
四半期連結損益計算書の営業利益	10,470

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。